

基礎・境界 ソサイエティ

# ニューズレター

December 2004 No.51



The Institute of Electronics, Information and Communication Engineers

## 2004 年度電子情報通信学会フェロー決定 基礎境界ソサイエティから 10 名



2004 年ソサイエティ大会授賞式での写真  
後列左より、吉村先生、山口先生、三橋先生、副井先生  
前列左より、雛元先生、疋田先生、鈴木副会長、中村ソサイエティ会長、浜田先生、香田先生  
(佐藤先生と吉川先生はご欠席)

2004 年度の電子情報通信学会フェローが決定され、徳島大学で開催された 2004 年ソサイエティ大会で表彰式がありました。基礎境界ソサイエティからは 10 名が受賞し、9 月 22 日、中村ソサ

イエティ会長から表彰状を受け取りました。基礎境界ソサイエティから受賞した方は次ページのとおりで。

---

目次	2004 年度電子情報通信学会フェロー決定	1
	第 18 回 回路とシステム軽井沢ワークショップ論文募集案内 <西尾芳文(徳島大)>	2
	量子情報工学小特集号(和文論文誌 A)論文募集	3
	2005 年暗号と情報セキュリティシンポジウム (SCIS2005)開催案内	4

基礎境界ソサイエティ関係フェロー受賞者（五十音順、敬称略）

贈呈者氏名	推薦タイトル	最終職歴
香田 徹	カオス符号系列の統計的解析とその情報通信への応用	九州大学大学院システム情報科学研究科情報工学部門教授
佐藤 吉信	システム安全と機能安全技法の教育研究	東京海洋大学海洋工学部 教授
浜田 望	多次元信号処理システムの設計と応用	慶応義塾大学理工学部 教授
疋田 光孝	移動体通信用弾性表面波デバイスの研究と実用化	(株)日立製作所中央研究所 主管研究員
雛元 孝夫	2次元デジタルフィルタの設計、合成、実現及び感度最小化に関する研究	広島大学大学院工学研究科複雑システム工学専攻 教授
副井 裕	アナログ・デジタル両面での信号処理技術の研究と国際的な教育活動	鳥取大学工学部電気電子工学科 教授
三橋 隆	論理 LSI のレイアウト設計および検証自動化技術の開発実用化	日本ケイデンス・デザイン・システム社 DMF 開発部エンジニアリングディレクター
山口 正恆	高圧電性擬似弾性表面波に関する基礎的研究	千葉大学工学部電子機械工学科 教授
吉川 昭吉郎	オーディオ技術の基本研究と技術標準化活動	長岡技術科学大学名誉教授
吉村 猛	レイアウト設計自動化に関する独創的研究と実用化	早稲田大学大学院情報生産システム研究科 教授

## 論文募集

# 第 18 回 回路とシステム軽井沢ワークショップ 論文募集案内

実行委員長 西尾 芳文（徳島大）

毎年、春に開催しております回路とシステムワークショップも、今回で 18 回目を迎えることとなりました。本ワークショップは、回路とシステムに関連した分野の研究者や技術者が集い、招待論文や投稿論文、パネル討論を通じて、分野内だけでなく分野間にまたがる境界領域の課題解決と、将来の研究分野の探求を目的としています。第 18 回 回路とシステム軽井沢ワークショップは下記の要領で開催いたします。皆様からの積極的な論文投稿をお願い申し上げます。

### 開催案内

開催日: 2005 年 4 月 25 日(月), 26 日(火)

会場: 軽井沢プリンスホテル・西館

Web ページ: <http://www.ieice.org/ess/kws/>

企画セッションなど最新の情報は、Web ページをご覧ください。

特別招待講演: 「非線形振動子を用いたロボットの歩行制御（予定）」土屋 和雄(京大)

論文投稿分野: 本ワークショップでは以下の特別セッションテーマに関する論文投稿を歓迎します。

「ハイブリッドダイナミカルシステム」

- 「パワー・インテグリティ解析」
- 「高周波回路の高精度設計技術」
- 「DFM-製造性を考慮した設計-」

さらに、次の分野に関する一般論文投稿を歓迎します。

- ・ 非線形問題
- ・ 回路の数値解析
- ・ アナログ回路
- ・ デジタル信号処理
- ・ VLSI 設計技術
- ・ 離散システム理論

新しいコンセプトの提案など、意欲的な論文の投稿も期待しております。

**投稿申し込み:** 邦文または英文の論文もしくはそれを的確に要約した抄録(論文の主旨および正当性を十分に判断できるもの)を Web ページより電子的にご投稿下さい(電子投稿の詳細は Web ページをご参照下さい)。ただし、査読のある論文誌等に発表されたものは対象外とします。図面を含み A4 版 3~6 ページ(形式自由)でご執筆下さい(論文集原稿の執筆要項は Web



会場となる軽井沢プリンスホテル・西館

ページに掲載されています)。なお、論文集原稿も 6 ページ以内となりますのでご配慮下さい。査読の上、下記期日までに採否通知を行います。電子投稿が不可能な場合は、下記連絡先までご連絡下さい。

**連絡先:** 村松 正吾 (論文担当幹事)

〒950-2181 新潟県新潟市五十嵐 2 の町 8050

新潟大学 工学部 電気電子工学科

Tel: 025-262-6746, Fax: 025-264-2130

E-mail: shogo@eng.niigata-u.ac.jp

**日程:** 投稿締切 2005 年 1 月 14 日(金) 厳守

採否通知 2005 年 2 月 21 日(月) 頃

論文集原稿 2005 年 3 月 10 日(木) 必着

**備考:** 本ワークショップで発表された成果から別途投稿、査読の上、基礎・境界ソサイエティ英文論文誌 IEICE Trans. on Fundamentals に小特集を組む企画があります。

**主催:** 電子情報通信学会 基礎・境界ソサイエティ システムと信号処理サブソサイエティ回路とシステム研究専門委員会、VLSI 設計技術研究専門委員会、信号処理研究専門委員会、コンカレント工学研究専門委員会、非線形理論とその応用サブソサイエティ 非線形問題研究専門委員会

**協賛:** 電気学会 電子回路研究専門委員会、IEEE Circuits and Systems Society, Japan Chapter、IEEE Signal Processing Society, Japan Chapter、電子情報通信学会スマートインフォメディアシステム研究専門委員会、電子情報通信学会ハイブリッドダイナミカルシステム理論とその応用研究専門委員会

## 量子情報工学小特集号(和文論文誌 A)論文募集

新たな電子情報通信でのモデルとして量子情報処理が注目を浴びています。現代公開鍵暗号のセキュリティをも破りうる強力な計算モデルとして量子計算の夢が語られ、情報理論的に安全な暗号として量子暗号が理論から実際へと展開を図りつつあります。このような状況は、やや抽象的な学問であった広い意味での量子情報理論の

様々な発展がより実践に近い分野「量子情報工学」の普遍的基礎を構築しつつあるという風に捉えられるでしょう。そこで量子情報工学や量子情報理論に関する論文を広く集め、この分野の更なる発展を促進すべく本小特集号(平成 17 年 8 月号)を企画いたしました。積極的なご投稿をお願いいたします。

## 1. 対象分野

量子情報理論、量子推定、量子通信路符号化  
量子情報源符号化、量子誤り訂正符号、  
量子もつれ（エンタングルメント）の測定、  
量子もつれ蒸留、量子暗号、量子アルゴリズム、  
量子計算量理論、量子情報幾何

## 2. 論文の執筆と扱い

通常の和文論文と同一とします。原則として、  
論文は刷り上り8ページ以内を基準とします。詳細は「和文論文誌投稿のしおり」  
([http://www.ieice.org/jpn/shiori/ja/shiori\\_ja.pdf](http://www.ieice.org/jpn/shiori/ja/shiori_ja.pdf))  
をご覧ください。また、査読後の再提出期間(通常は60日)を短縮する場合がありますので、あらかじめ御了承下さい。

## 3. 論文投稿締切日

平成16年12月10日(金)必着

## 4. 論文投稿方法

投稿は、本会電子投稿システム  
([http://review.ieice.org/regist\\_j.wbt](http://review.ieice.org/regist_j.wbt))  
による電子投稿(PDFファイル)のみと致します。上記  
ウェブページでの登録の際、「ソサイエティ/特集号」は「[特集 JA]量子情報工学小特集号」  
を選択してください。なお、仮登録の際に作成さ

れる投稿者チェックリストならびにコピーライ  
トトランスファーフォームは、論文投稿締切日  
である平成16年12月10日(金)までに学会事務局  
(下記送付先)に到着するように郵送して下さい。  
(仮登録は余裕を持ってお願いします。)

## 5. 電子投稿に伴う郵送物送付先

〒105-0011 港区芝公園 3-5-22

機械振興会館別館 3F

(社)電子情報通信学会ソサイエティ誌出版課

## 6. 問合せ先

中西正樹 奈良先端科学技術大学院大学  
情報科学研究科

630-0101 奈良県生駒市高山町 8916-5

E-mail : [qie@is.naist.jp](mailto:qie@is.naist.jp)

Tel : 0743-72-5302, Fax: 0743-72-5309

## 7. 特集号編集委員会

ゲストエディタ 浜田充(ERATO, JST)

幹事 中西正樹(奈良先端科学技術大学院大学;  
編集幹事)

委員 小林弘忠(ERATO, JST)、浜口清治(大阪  
大学)、森越文明(NTT)、  
渡辺曜大(国立情報学研究所)

## 開催案内

# 2005年暗号と情報セキュリティシンポジウム (SCIS2005)

会場： 舞子ピラ(兵庫県神戸市)

期日： 平成17年1月25日(火)~1月28日(金)

主旨： 本シンポジウムは1984年以来毎年開催  
され、暗号と情報セキュリティ技術に関する最新  
の研究成果を発表する場と情報交換の場を提  
供しています。今回は一般講演のほかに、特別  
講演を企画しています。つきましては、シンポジ  
ウムへの参加申し込みについてご案内いたしま  
す。

参加申し込み締め切り： 2004年12月24日

(発表申し込み締め切りは2004年11月30日)

申し込み方法： 11月より本シンポジウム Web  
ページにおいて受け付ける予定です。詳細は  
<http://www.rs.noda.tus.ac.jp/~scis2005/>  
をご参照ください。なお、デモ展示は予定してお

りません。宿泊につきましては舞子ピラを割安料  
金でご案内いたします。

参加費(懇親会費を除く)：

一般 20,000円、学生 13,000円

懇親会費： 一般 8,000円、学生 6,000円

問合せ先： 不明な点は下記にお問合せください。

E-mail : [SCIS05-q@rs.noda.tus.ac.jp](mailto:SCIS05-q@rs.noda.tus.ac.jp)

開催幹事代表：

東京理科大学理工学部電気電子情報工学科

金子 敏信

富士通株式会社 秋山 良太

主催： 情報セキュリティ研究専門委員会

共催： コピキタスネットワーク社会における  
バイオメトリクスセキュリティ時限研究会

協賛： 情報通信基礎サブソサイエティ